

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	担当課	目標 数値・内容目標	達成年度 同左数値の 目標達成年次	目標値 目標内容 同左目標達成 の数値・内容	達成年度の設定 KPI提案	目標内容の 現在の数値・内容 KPIの現況値 及び内容	同左数値の 現況年度を明記 同左現況値の 年次	KPI(重要業績評価指 数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の 方針などを明記
												令和2年度	令和3年度		
1	継続	28	しごと 企業誘致事業	地元企業による 地元雇用採用人数	企画課	地元企業による地 元雇用採用人数	R6年度	75人	75人	73人	H27~31年度	20人	12人	県外企業から問合せがあり、町の用地等の紹介 や町内企業の増設について相談があり、企業誘 致助成金等の案内をした。	次年度以降、令和3年度に相談の受けた企業が企業 誘致助成金等による地元雇用の増加が見込まれる。 引き続き、企業誘致に関する問合せの対応や企業へ の各種助成制度のPRをし、地元雇用の促進を図りな がら、地元雇用採用人数の確保に努める。
2	継続	29	しごと 創業支援事業	新規創業者の創 出	企画課	新規創業者の創出 25件	R6年度	25件	創業者:年間5件	年間約5件	H27年 5件 H28年 5件 H29年 6件 H30年 4件 R1年 4件	創業者数(補助 金交付数):3件	創業者数(補助 金交付数):4件	創業者数4件の業種内訳 ・美容室:1件 ・宿泊業(ゲストハウス):2件 ・飲食店:1件 ゲストハウス1件と飲食店1件が県外からの移住 創業者であり、いずれも町に魅力を感じ移住を決 意されている。特にゲストハウスは同日に最大6 組10名が宿泊でき、町の宿泊施設不足解消への 好事例となることが期待できる。	KPI目標数値:25件 令和3年度末時点累計:7件 KPI達成のため、支援制度周知や商工会との連携強化 に努め、年間の創業者数を増につなげる。 創業を希望される業種・業態も多種多様になっており、 補助金制度を幅広く平等に使っていただくため要綱の 見直しも検討していく。
3	継続	29	しごと 繊維産業活性化 加速化事業	①織物オリジナル 商品開発数 ②SDGs 開発目 標の取り組み達 成項目数	企画課	①歴史資源を活か したオリジナル 商品開発 20点 ②SDGs開発目標の 取り組み達成項目 5項目	R6年度	①20点 ②5項目	R6年度までに ①20点 ②5項目	①5点 ・キモノール ・不動滝白装束 ・ネオ能登上布 ・ポップコーン ウェアブ ・どぶろくアウト ②0項目	R元年度	①27点 ②4項目 ※①は目標達成	①令和2年度で 目標達成済 ②0項目	①の織物オリジナル商品開発数については、令 和2年度の目標達成済み。②SDGs 開発目標の 取り組み達成項目数については、具体的な施策 反映にはつながらなかった。	KPI達成のため、町職員のSDGsへの意識を高めるた めの研修を実施し町施策に結びつけることができる人 材を育成する。また、町民への意識醸成として町出前 講座のなかで、SDGsの講座を新たに設けて普及に努 める。
4	継続	29	しごと 農業の担い手確 保・育成	認定農業者・農業 法人設立数	農林課	認定農業者、集落 営農組織、農業法 人への転換・育成の 支援	R6年度	個人経営から集落 営農・農業法人へ の転換及び広域化 への支援並びに新 規就農者からの認 定農業者・農業法 人への育成	経営体数85	経営体数82	R元年度	78 (0)	73	更新:22経営体 変更:3経営体 新規:3経営体 取り下げ:6経営体	主に高齢化による離農で、個人認定の取り下げが6経 営体あった。現在の認定農業者においても年齢層が高 いため5年後、10年後は更に離農者数が増えたと予 想される。今後は認定就農者から認定農業者へ誘導 し認定農業者を増やしていきたい。
5	継続	29	しごと 新規就農者の 確保・育成	新規就農者数	農林課	新規就農者の確保	R6年度	累計8人	R6年度までに累計 8人	累計6人	R元年度	6 (0)	7 (1)	・4名の相談を受付 ・4名の内、1名を新規就農者として認定 ・残りの3名の内、2名は相談継続中 ・国のHP「農業をはじめの.JP」の支援情報に登録	相談者に対して、県やJAと協力し情報提供や就業に 向けての計画書の作成をサポートし、新規就農に繋が るように努める。
6	継続	30	しごと どぶろく特区を 活かした まちづくり	濁酒製造業者数	企画課	どぶろく飲み比べの まちを目指して 濁酒製造業者を3経 営体創業者	R6年度	3経営体	R6年度までに 3経営体 累計 5経営体	2経営体 太郎右衛門 さえさ	R元年度	0経営体	0経営体	令和3年度については、候補者の人材探しを実 施したが、生産者の確保にはつながらなかった。	どぶろく生産者を目指し、令和4年7月に地域おこし協 力隊1名を採用。ほか4名の候補者を集う。中能登町 観光協会が令和4年12月に「どぶろく宣言」を行い、ど ぶろくで地域を盛り上げていく醸成を図りながら、生産 者確保にもつなげる。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策事業名	目標項目	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の方針などを明記
												同左数値の 目標達成年次	同左目標達成 の数値・内容		
7	継続	30	しごと 特色ある農産物の 産地化	特色ある園芸品 目・カラー野菜の 売上(年間)	農林課	道の駅直売所、中能登直行使への園芸品目・カラー野菜の出荷量増加	R6年度	年間売上額2,000万円以上	年間売上額2,000万円以上の維持継続	R元年度に初めて年間売上額2,000万円を達成	R元年度	1093万円	1022万円	生産農家数 41農家	コロナ禍において、生産農家数は横ばいであったが売上額はわずかに減っている。今後は、売上額を増やすため、営農指導員や直売所スタッフの指導による栽培技術向上を図り、野菜の安定的な出荷体制に努める。
8	継続	30	しごと 有害鳥獣対策事業	有害鳥獣による農作物被害	農林課	有害鳥獣による農作物被害の抑制	R6年度	年間被害額100万円以下	年間被害額100万円以下の維持継続	R元年度に初めて年間被害額100万円以下を達成	R元年度	84万円	53万円	イノシシ捕獲頭数 成獣41頭、幼獣46頭 捕獲用檻設置44基 新規狩猟免許取得者 なわ2件	イノシシの捕獲頭数は前年の半分位であったが、生息頭数減少の影響もあり、農作物への被害が抑制された。
9	継続	31	ひと 移住定住促進事業	定住促進奨励金を活用した移住者及びUターン者数	企画課	移住者数 250人(各事業対象者と一緒に転入した同世帯の者を含む)	R6年度	250人	R6年度までに、移住者及び250人(各事業対象者と一緒に転入した同世帯の者を含む)	移住者 244人	H27年 41人(定住奨励金40人、空き家バンク賃貸0人) H28年 37人(定住奨励金33人、空き家バンク賃貸3人) H29年 38人(定住奨励金36人、空き家バンク賃貸0人) H30年 64人(定住奨励金62人、空き家バンク賃貸0人) R1年 71人(定住奨励金70人、空き家バンク賃貸0人)	・申請件数:46件 ・転入者数:70人(転入者内訳) ・移住者:68人 ・Uターン:2人	・申請件数:55件 ・転入者数:78人(転入者内訳) ・移住者:66人 ・Uターン:12人	町ホームページをはじめ、七尾市、羽咋市と移住連携している「能登地域移住交流協議会」での事業において、各種パンフレットやホームページ、移住フェアを通じ、これまで以上に積極的に制度の周知を図った。	引き続き、定住に向けて能登地域移住交流協議会とも連携しながら、制度の周知を図り定住につなげる。
10	継続	31	ひと 宅地造成事業の推進	「新良川駅東」の残区画の販売	土木建設課	「新良川駅東」の残3区画の販売	R2年度	3区画	R2年度	5区画	R元年度	3区画(完売)	0区画	「上布の郷」分譲地の詳細設計を実施	引き続きKPI達成に向けて、「上布の郷」分譲地事業を進める。
11	継続	31	ひと 町営住宅の更新	町営住宅の建替え戸数	土木建設課	町営住宅建替え 30戸	R6年度	30戸	R6年度までに30戸	5戸	R元年度	0戸	0戸	PFI事業の本契約を9月に締結。計画地での開発行為の事業推進を図った。	R4年度工事着手に向けて、遅滞なく事業の推進を目指す。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策事業名	目標項目	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価 数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の 方針などを明記
												同左数値の 目標達成年次	同左目標達成 の数値・内容		
12	継続	32	ひと	巻き込み・関係人口プロモーション事業	企画課	①体験交流ツアーの実施回数 ②まちコンシェルジュ人材育成人数	R6年度	①体験交流事業年2回実施 ②まちコンシェルジュ人材 R2-R6年度累計 10人	体験交流事業年2回実施 まちコンシェルジュ人材 R2-R6年度累計 10人	-	-	①33回 ②9人	①2回 ②1人	能登地域移住交流協議会(七尾市・羽咋市・中能登町)で企画したワーケーションツアーの実施。 埼玉県内開智学園の修学旅行で受入 ①体験交流ツアー ・能登地域移住交流協議会 1回(R3.12月) ※延べ15人参加 行政サービス庁舎、能登やまびこ、旧丹後邸能登園天日陰比め神社、mogmog、織姫の宿くろぎがツアーコース ・埼玉県開智学園SDGsツアー 1回(R4.3月) ※延べ24人参加 能登上布会館、ふるさと創修館 ②まちコンシェルジュ 1名 【新規】 (一社)中能登スローツーリズム協議会 亀井孝男(衣文化) 着物文化、ホテルてまり	広域連携ツアーの初の達成を達成したほか、当町ではじめて県外の修学旅行の受入を達成。またスローツーリズム協議会に能登上布などをコンシェルジュする人材を確保。引き続きKPI目標達成のため、修学旅行の継続的な受入やツアー受入対応可能な人材発掘や育成に努め誘客につなげる。
13	継続	32	地域	ICTを活用した魅力ある観光推進事業	企画課	①町内の観光施設等の来訪者数約10%引上げ ②成功事例3件を目指す ③デジタル支援員の育成10人	R6年度	①300,000人 ②累計 3件 ③累計 10人	①300,000人 ②累計 3件 ③累計 10人	H27~31年の来訪者平均 274,000人 成功事例0件	H27~31年	①187,317人 ②0件 ③19人 ※③は目標達成	①208,313人 ②1件 ③2人 ※③はR2年度で目標達成	①コロナ禍で観光施設の入込客数は前年度比の11%増となり、少しずつ入込が回復している。 ②ICTの活用としては、現在、石川高等専門学校と気象予報をAIで色が変化する「ITてる坊主」を実証実験。総務庁舎に令和3年5月より設置。 ③総務省の「デジタル活用支援員推進事業地域実証事業」の事業採択を受け、スマホやLINE、マイナンバーカードの普及などの相談会や高齢者に教える「スマホ教室」を実施。令和2年度に育成したデジタル活用支援員をサポーターとして活躍いただいた。2名の新たなデジタル活用支援員も育成	KPI目標達成に向け、DMOやスローツーリズム協議会、観光協会、鹿西高校や金沢大学とも連携して実施している観光プランを造成していく。 令和4年度に採択された内閣府の未来技術実証事業を活用して、農業DXの「デジタルかかし」、石川工業専門学校と連携した「地域ポイントの導入」、デジタルサイネージの導入、デジタル人材を育成する「デジタルアカデミー」の開校などの取組みを通じ、今後ICT技術を駆使して地域の課題解決につなげる取組みを実施して、DX(デジタルトランスフォーメーション)の町を目指す。デジタル活用支援員のKPI達成は令和2年度で達成したが、引き続き支援員の育成を継続しつつ活躍の場の機会をつくる。
14	新規	32	地域	外貨を稼げる魅力イベント推進事業	企画課	町の魅力と外貨をかせげるイベントの毎年開催	R6年度	年間2回開催 関係人口 年間10,000人 (ワクドキP目標値)	年間2回開催 関係人口 年間10,000人 (ワクドキP目標値)	-	-	1回	3回	コロナ禍でイベントの中止の制限がされるなか、金沢文化服装学院とテクシとのコラボ企画「織維ミライ展」を開催。同年12月に初出展した日本最大の見本市「ジャパングリェーション」に展示した衣装などを広くPRしたほか、旧久江小学校を活用した「かかしの郷プロジェクト」や「観光庁心のバリアフリー認定記念シンポジウム」を実施 ①織維ミライ展 R4.1.24~ R4.2.24~R4.3.21 (道の駅織姫の里なかのと、行政サービス庁舎) ②かかしの郷プロジェクト R3.12月 ③観光庁心のバリアフリー認定記念シンポジウム R4.2.12	KPI目標達成に向け、関係団体とも引き続き連携して中能登町の魅力を発信できる新たなイベントを企画し全国から集客できるイベントを創出していく。
15	新規	32	しごと	中能登ファンを獲得するふるさと納税魅力発信事業	企画課	納税額 毎年約30%アップ R2 6,000千円 R3 8,000千円 R4 10,000千円 R5 12,000千円 R6 14,000千円	R6年度	15,000千円	15,000千円	5,000千円	R元年度	13,327,142円 (260件)	13,015,000円 (247件)	令和3年4月:78種類→令和3年4月:112種類 ふるさとチョイス、ふるなび、さとふる、楽天の4つの民間サイトを活用した。また企業版ふるさと納税の応援企業獲得のため、JTBのふるさとコネクトを新たに追加。	令和3年度の同等の約13,000千円の納税実績があり、また企業版ふるさと納税で2件の申し込みがあった。今後は、納税額をより増やすため、12月に都市圏でのPRイベントに出展し、全国的に中能登町の魅力をより知ってもらえるよう中能登ファン獲得に努める。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	担当課	目標 数値・内容目標	達成年度 同左数値の 目標達成年次	目標値 目標内容 同左目標達成 の数値・内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指 数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の 方針などを明記	
												令和2年度	令和3年度			
16	継続	33	ひと	誰もが輝ける ファッションの まちづくり事業	ファッション ショーの開催回数 (年間)	企画課	誰もが輝ける ユニバーサル ファッションショーの 毎年開催	R6年度	年間1回	年間1回	斬新な ファッションショー 1回 切斯ヴィーナス ショー	R元年度	0回	0回	コロナ禍で大衆の集まる町祭などのイベントが中 止、規制され、ファッションショーの開催ができな かった。	KPIの目標達成に向けて、町祭などに依存しない新た なファッションショーの在り方を検討し、オンラインなど の開催も視野に入れて次年度以降工夫しながら開催 して織物の町をPRしていきたい。
17	継続	33	地域	鹿西高校魅力向 上支援事業	町内出身者の鹿 西高校進学者数	企画課	毎年、町内出身者 の鹿西高校進学者 20人増を目指す	R6年度	50名 R2-R6の 5年間平均値	R6年度までに20人 増 累計50人平均	入学者数 30名 H27-R1の 5年間平均値	R1年度	28名	21名	鹿西高校の魅力化を図るため、文部科学省の 進める「総合的な探究の時間」を3年間の生徒育 成プロジェクトとして推進した。 【1年生】能登観光プラン企画 【2年生】企業の課題と解決を図る 【3年生】SDGsの貢献意識の醸成 →「持続可能な社会の創り手」を育成	引き続きKPI目標達成に向けて、探究の時間やおにぎ りコンクールの事業を継続し、高校の魅力化を推し進 める。また中学生との交流授業や連携授業も進めてい きたい。
18	継続	34	ひと	結婚推進事業	①結婚推進事業 による成婚数 ②出会いの場の 創出(年間) ③出会い、結婚プ ランナーの育成 数	企画課	①推進事業での 成婚20組 ②出会いの場創出 2回/年 ③プランナーの育 成 10人	R6年度	①20組 ②2回/年 ③10人(累計)	①年間4組 ②2回/年 ③10人 (R2-R6累計)	H27年 4組 H28年 3組 H29年 3組 H30年 2組 H31年 1組	H27~31年度	①3組 ②0回 ③9人	①3組 ②0回 ③0人	結婚推進員による相談件数261件 32件の交際 があり、3組成婚となった。定例相談日に加え、結 婚推進員独自でも相談を行い成婚につなが った。 一方、出会いの場創出、結婚プランナーの育成 の事業実施については企画、育成方針などの事 業スキームが立てられず、目標達成には至らな かった。	引き続きKPI達成に向けて、国の補助制度なども活用 し、地元飲食店など結婚応援登録店制度を制定し、登 録を促すことで、地元店利用促進やお店でのイベント 実施や結婚プランナーの育成、出会いの場の創出、成 婚につなげる。
19	継続	35	Ⅲ-②	不妊症治療費の 助成	不妊治療者の妊 娠届出数	健康保 険課	不妊治療者の妊娠 届出数について、 R2~R6の5年間で 50件を目指す(1年 間あたり10件)。	R6年度	不妊治療者の妊娠 届出数について、 R2~R6の5年間で 50件を目指す(1年 間あたり10件)。	50件	33件	平成27~30年度の 合計件数	50%	21件	●不妊治療費助成 一般不妊治療費助成5件 特定不妊治療費助成16件	令和4年度から、不妊治療が保険適用となった。保険 適用として認められていない先進的な医療技術で、将 来的な保険導入に向けて評価を行っているものもあ る。町としての助成を見直し、希望者が、適切に治療 を受けられるよう進めていきたい。保険治療の方、自費 治療の方に関わらず、相談窓口を開設し、より良い支 援につなげたい。
20	継続	35	Ⅲ-②	不育症治療費の 助成	不育治療者の妊 娠届出数	健康保 険課	不育症治療者の妊 娠届出数1件 (R2~R6年間で)	R6年度	不育症治療者の妊 娠届出数1件 (R2~R6年間で)	1件	0件	平成30年度	0%	0%	●不育治療費助成0件	希望者が、適切に治療を受けられるよう、推進してい きたい。また、相談窓口を開設し、より良い支援につな げていきたい。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	担当課	目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指 数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の 方針などを明記	
						数値・内容目標	同左数値の 目標達成年次	同左目標達成 の数値・内容	KPI提案	KPIの現況値 及び内容	同左現況値の 年次	令和2年度	令和3年度			
21	継続	35	子育て 環境	出産祝金	出産祝金申請数 (年間)	健康保 険課	100人を目指す。	R2年度	100人	100人	出産祝金申請件数 H27 102人 H28 126人 H29 112人 H30 81人	H27~30年度	85%	86人	●出産祝金支給事業 ①第1子 22人 ②第2子 38人 ③第3子 17人 ④第4子 6人 ⑤第5子以降 3人	引き続き、子育て環境の充実のために取り組む。
22	新規	35	子育て 環境	妊産婦健康診査 事業	妊産婦健康診査 受診率	健康保 険課	95% 妊産婦健康診査受 診率	令和6年度	95%	95%	90.4%	平成30年度	100%(初回受 診率)	100%(初回受 診率)	妊娠届出の全ての来所者に、妊婦健診受診券を 発行。妊娠中から出産後に行う健康診査や教室 について、チラシを用いて説明している。妊婦健 診の必要性について説明し、受診率の向上につ なげている。	引き続き、妊婦健診の必要性について、説明し、受診 率の向上につなげていきたい。
23	新規	35	子育て 環境	乳児家庭全戸訪 問事業	乳児家庭全戸訪 問実施率	健康保 険課	100% 乳児家庭全戸訪問 実施率	令和6年度	100%	100%	98.80%	平成30年度	99%	100%	●乳児家庭全戸訪問実施 100%	引き続き、訪問を実施し、安心して子育てができるよ う、支援を行っていききたい。
24	新規	35	子育て 環境	乳幼児健康診査 事業	乳幼児健康診査 受診率	健康保 険課	95.0% 乳幼児健康診査受 診率	令和6年度	95.00%	95.00%	98.80%	平成30年度	98.90%	100%	●各種健診 4か月児健康診査受診率98%(入院中等の理由 により未受診者については、家庭訪問や来所 にて児の様子を確認した。) 1歳7か月児健康診査受診率100% 3歳児健康診査受診率99%(次年度に受診 済)	引き続き、入院中等の理由で受診できない対象者者 以外、すべての対象者が受診できるよう、案内を行っ ていく。
25	新規	35	子育て 環境	子ども家庭 総合支援拠点事 業	子ども家庭総合 支援拠点の設置 と機能強化	健康保 険課	拠点1か所 人員2人	R3年度	拠点1か所 人員2人	拠点1か所 人員2人	設置無し		令和3年2月 拠点1か所 設置	令和3年2月 拠点1か所 継続(人員1 名)	子育て等の相談窓口「kotona」を開設した。 コトナ(子育て)44件 つなぐ(不登校)28件 にじいろ(発達)35件 あるく(乳児)6件	引き続き、妊娠前から18歳までの相談窓口の充実 に取り組む。
26	継続	36	子育て 環境	三世代ファミリー 同居促進事業	三世代の同居・近 居に対する助成 件数(年間)	健康保 険課	年間3件。累計10 件。	R6年度	累計10件。	年間3件。			0件	-	令和2年度で廃止とした。(石川県は令和元年度 で事業廃止)	近年の申請件数の減少、県の補助事業(令和元年度 廃止)廃止となり、町の補助も、令和2年度で廃止とし た。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策事業名	目標項目	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指 数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の 方針などを明記
												令和2年度	令和3年度		
27	新規	36	子育て環境 時代に即した教育の実施	ICT 端末の整備	学校教育課	児童・生徒1人に1台端末の整備	R4年度	児童・生徒1人に1台端末の整備	児童・生徒1人に1台端末の整備	電子黒板:小学校27台、中学校6台 タブレット:小学校120台、中学校40台	R1年度	全ての児童・生徒1人に1台端末を整備 電子黒板:小学校13台、中学校9台 タブレット:小学校850台、中学校475台整備	令和2年度に整備済	電子黒板の導入が計画どおり整備できた。	電子黒板の導入を計画的に進める。 ICTを活用した学習が進むよう、必要な学習環境を整備する。
28	継続	36	子育て環境 町立保育園再編検討事業	町立保育園再編計画の策定	健康保険課	保育園再編検討委員会を開催し、再編計画を策定する。	R6年度	町立保育園の統合・民営化	町立保育園の統合・民営化	町立保育園 5園		町立保育園の統合・民営化に向けて再編計画を協議中	町立保育園の統合・民営化に向けて再編計画を協議中	健康保険課内で、現状について協議をした。	再編検討に向け、子育て会議を開き、方向性を決めていきたい。
29	新規	37	地域 中能登町の男女が幸せになる普及促進事業	①第3期男女共同参画行動計画の策定 ②普及イベント開催数(年間) ③生産年齢人口数(新規)(15~64歳)	企画課	①第3期男女共同参画行動計画の策定 ②普及イベント開催数 ③生産年齢人口数(15歳~64歳)	R6年度	①第3期男女共同参画行動計画策定(R2年度目標) ②普及イベント開催数 2回/年 ③生産年齢人口数(15~64歳) 8,200人	R6年度までに ①第3期男女共同参画行動計画策定 ②普及イベント回数 2回/年 ③生産年齢人口数(15~64歳) 8,200人	①第2期行動計画策定済 ②2回 ・講演会、料理教室 ③8,580人(R1)(年齢別人口集計票:9,517人)	R元年度	①令和3年3月策定済 ②0回 ③9,139人(R.3.31時点)	①令和3年3月策定済 ②4回 ③8,921人(R4.3.31時点)	普及イベントについては、女性の労働意識の向上を図るため、デジタルスマホ教室やSDGsの意識向上を図るセミナー、講演会を開催し、男女が共に活躍できる新しい分野の可能性につなげた。 また、男女共同参画推進週間、パープルリボン月間において、広報なかのど等で周知・啓発を行った。鹿西高校生徒制作の紙芝居をSNSに掲載し情報発信に努めた。 さらには、春木地区で移住座談会を行い、各種団体の男女が参加し、ともに将来の地区のビジョンを考えることで共同参画の実現につなげた。	引き続き、第3期男女共同参画行動計画に基づき、KPI達成のため、中能登町男女共同参画推進員が先頭になって男女共同参画実現に向けて事業推進する。 令和4年度は男女共同参画推進のモデル地区選定に向けて事業実施予定。
30	継続	38	地域 古民家・土蔵活用事業	古民家の活用軒数	企画課	古民家・土蔵の活用件数	R6年度	累計5軒	R6年度までに5軒	5軒 みおやの里 旧丹後邸 アズマの百笑宿 織姫の宿くつろぎ 鶴様道中の宿	5軒	1軒 喜屋	0件	民宿の開業を目指す人材が不足し実績にはつながらなかった。	KPI目標値達成に向けて、どぶろく推進や町創業補助金などのPRを進めて古民家の活用件数を増やしていきたい。 ※令和4年度:結舎UINOYA ゲストハウスオープン
31	継続	39	地域 公共施設利活用事業	個別施設計画の策定	総務課	個別施設計画の策定	R6年度	個別施設計画の全施設分の策定完了(大分類19分類)	—	大分類の4分類策定済(子育て支援施設、橋梁、下水道施設、水道施設)	R元年度	大分類の8分類策定済(社会教育、子育て支援、行政、供給処理施設、道路、橋梁、上水道施設、下水道施設)	大分類の6分類策定済(町民文化、スポレク、学校、公営住宅、公園、その他)	未策定の施設所管課に対し、令和3年度中の策定を周知した。	町施設のすべてが策定済みとなるよう、所管課に策定を促す。
32	継続	39	地域 旧学校施設の利活用	旧学校施設の施設利用の決定	学校教育課	施設利用の決定/(3施設)	R6年度	施設利用の決定/(3施設)	旧鳥屋中学校、旧鹿西中学校、旧久江小学校の利活用の決定	3施設	R1年度	3施設のうち1施設の利活用決定(旧鹿西中学校)	残る2施設について利活用を検討する。	残る2施設について利活用を検討する。 旧鳥屋中学校は文化財等が保管されている。 旧久江小学校は主に地域活動の拠点として利用されている。	引き続き、2施設について利活用を検討する。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指 数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の 方針などを明記
												令和2年度	令和3年度		
33	継続	40	地域	通学路の 安全点検の実施	学校教 育課	通学路の安全合同 点検の実施と協議 会の開催	R6年度	通学路安全合同点 検を実施し、改善で きる箇所は対応し ていく	毎年、通学路安全 合同点検を実施し、 改善できる箇所は 対応していく	3小学校の通学路 安全合同点検の実 施、中能登町通学 路安全推進協議会 の開催、中能登町 通学路安全プログ ラムの公表	R1年度	通学路安全合 同点検を実施 した。 点検箇所: 26箇所 改善箇所: 10箇所	通学路安全合 同点検を実施 した。 点検箇所: 17箇所 改善箇所: 11箇所	3小学校から提出された通学路点検箇所につい て、通学路安全合同点検を夏季休業中に実施し た。 中能登町通学路安全推進協議会を10月に開催 し、改善箇所の報告、確認を行った。	今後も毎年、通学路合同点検を実施し、改善できる箇 所は対応していく。
34	新規	41	地域	コミュニティ スクールの開校	学校教 育課	4校の開校	R6年度	4校の開校	R6年度までに、各 小中学校で、コミュ ニティスクールを開 校する	0校	R1年度	0校	0校	中能登プロジェクト(コミュニティ・スクール)の進 め方について、教育委員会内での打ち合わせ。 各小中学校へアンケート調査。 町教育総合会議での協議。	令和4年度は、設置に向けての準備を行う。 令和5年度には、コミュニティ・スクール(モデル校)を 設置。
35	継続	39	地域	町ホームページを 活用した 地域情報の発信	情報推 進課	年間約792,000件 月平均 約66,000件	R6年度	年間約792,000件 月平均 約66,000件	年間約12,000件の 増 月平均 約1,000件の増	年間約780,000件 月平均 約65,000件	R1年度	年間 約1,050,000件 月平均 87,500件	年間 約996,000件 月平均 83,000件	情報内容の充実を図り、利用者の利便性の向上 に努めた。	こまめな情報更新を行い、利用者に分かり易い情報を 伝える。
36	継続	39	地域	観光・防災 WiFi環境の整備	情報推 進課	9カ所	R6年度	累計9カ所	5カ所整備 ・旧鹿西中学校(= 行政サービス庁舎 横の鹿西体育館) ・中能登中学校 ・ラピア鹿島 ・町社会福祉セン ター ・カルチャーセン ター飛翔	累計4カ所 ・道の駅 ・石動山資料館 ・雨の宮 ・不動滝	R1年度	0カ所の未整備	ラピア鹿島 観光・防災用W ifi環境の整備	観光・防災の観点から利用者の利便性を図るた めに、WiFi環境の整備を行う。	観光施設・防災拠点となっている公共施設にWiFi環 境を整備していく為にも担当課と協議を行い早急に環 境を整えて、利用者の利便性の向上を図りたい。
37	継続	40	地域	空き家対策事業	企画課	①空き家バンク 成約件数(年間) ②空き家判定件 数	R6年度	判定件数20件 契約成立25件	判定件数4件/年 契約成立5件/年	判定件数 ー 契約成立 5件/年	ー H27~31年度	①13件 ②0件	①14件 ②0件	町ホームページの内容充実や七尾市、羽咋市と 移住連携している「能登地域移住交流協議会」で の事業において、各種パンフレットやホームペ ージ、移住フェアなどを通じて、これまで以上に積 極的に制度の周知を図り、空き家の紹介や有効 活用の方法などを紹介した。また、制度開始か ら、成約件数が50%を超える実績があった。	引き続き、能登地域移住交流協議会とも連携しなが ら、町内地区へ制度の周知を図り、町内の地区への移 住座談会を通じ、地区の空き家マップなどの作成を促 進し活用できるよう総合支援して、空き家物件の登録 や成約につなげる。
38	継続	40	地域	基幹道路の整備	土木建 設課	起点側 L=460mの整備 終点側 L=200mの整備	R6年度	起点側 L=460mの整備 終点側 L=200mの整備	R6年度まで全線開 通	一部供用	R元年度	起点側 L=0m 終点側 L=0m 事業計画策定 済	起点側 L=0m 終点側 L=0m 用地買収 N=2筆	地方創生道整備推進交付金事業を活用し、起点 側の用地買収を完了した。	R6年度開通に向けて事業進捗を図る。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策事業名	目標項目	担当課	目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の方針などを明記	
						数値・内容目標	同左数値の 目標達成年次	同左目標達成 の数値・内容	KPI提案	KPIの現況値 及び内容	同左現況値の 年次	令和2年度	令和3年度			
39	継続	40	地域	生活道路の整備	道路の狭隘区間 解消数	土木建設課	道路改良 10路線	R6年度	15路線	年間 2路線	3路線	R元年度	3路線実施	2路線実施	道路の狭隘区間工事を2路線実施した。	引き続き、狭隘な生活道路の改良工を行い、地域住民の利便性を図り、安心安全な生活環境を目指す。
40	継続	40	地域	交通安全防犯灯 施設整備事業	防犯灯の設置数	総務課	LED街灯の設置 町管理:1,300基 地区管理3,000基 計:4,300基	R6年度	4,300基	年間200基	3,321基	R元年度	新規設置27基 更新264基	新規設置10基 更新105基	地区に対し、地区防犯灯事業費補助金交付要綱の制度周知を区長会などで説明した。	防犯の観点から、該当の更新及び新設の目標達成に向けて、各地区に周知を行う。
41	継続	40	地域	消防・防災等 災害対策事業	地区防災力の強化 及び防災士の配置	総務課	防災士の増員 232人	R6年度	232人	年間15人	157人	R元年度	新規取得者 30人 防災士総数 185人	新規取得者 29人 防災士総数 213人	未配置となっている地区への働きかけを行ったこと、また、既に配置されている地区には、更なる地区防災の強化に働きかけたことにより、防災士の育成数の増加となった。	防災士がいない地区もあるため、空白地区を埋めるために各各地区に、防災における共助の観点から防災士の配置を促す。
42	継続	40	地域	災害に強い 町づくりの推進	耐震改修実施戸数	土木建設課	耐震改修実施戸数 10戸	R6年度	10戸	年間 2戸	5戸	R元年度	0件	3件	広報なかのどに耐震改修の補助金を掲載し、大切な生命と財産を守るため耐震改修の啓発を行った。	高額になり得る耐震改修工事費用の、代理受領制度は申請者の費用的負担軽減になることから、広報などを通じて周知していく。
43	継続	41	地域	地域福祉の推進	地域福祉座談会 の実施	中能登町社会福祉協議会	1年間に6地区で地域福祉座談会を実施する。基本的には、1地区で2回開催する。R2～R6年も地域を回り、地域福祉の課題を今後も継続して実施する。将来は全地区を網羅する。	R2年度	30地区	年間6地区	R元年度は良川沖・地頭・北、在江地区で実施した。 進捗割合:24/62 町内会	R元年度	0件	1件	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福祉座談会の開催は令和2年度に引き続き中止としました。不特定多数の地域住民が参加する開催方法では現状として無理があることから、地域福祉推進チームを対象とした「福祉見守りマップ作り」を実施しました。地域のつながりや課題を白地図に書き込み、生活福祉に関する現状を明らかにし、チーム員で共有し、見守り活動の強化や、自分たちで出来ることを話し合いました。(実績1件)	高齢になっても障がいがあっても、安心して暮らせる地域づくりのため、地域福祉推進チームを対象として、「福祉見守りマップ作り」を開催できるよう、チラシ等を作成し周知します。地域福祉推進チーム員のひとりひとりが持っているつながりや支え合いの情報を出し合い、地図に書き込むことで、地域の状況が見えてきます。それと同時に生活課題や福祉課題が明らかとなります。今後も十分な感染対策をとりながら、見守り活動の強化や解決策に向けた話し合いや仕組みづくりの場となるよう「福祉見守りマップ作り」を推進していきます。
44	新規	41	ひと	日本語教育事業	①日本語教室の 開催数 ②日本語教室の 参加者数	生涯学習課	日本語教室開催及び参加者 累計200人	令和6年度	・「日本語クラス」年12回 ・「多文化共生クラス」年12回 累計200人	令和6年度までに ・「日本語クラス」60回 ・「多文化共生クラス」60回 ・累計200人	・「プレ教室」年10回 ・「多文化共生イベント」年2回 ・20人	令和元年度	①開催16回/ 年 ②参加者 延べ340名	①開催11回/ 年 ②参加者 延べ204名	令和元年度から公設民営方式を採用し、令和2年度から中能登町国際交流の会に業務委託し、日本語教室の運営を行っている。年間21回開催を計画し、日本語クラス、多文化共生クラスの2クラスを開催した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年間11回の開催となった。また、コアメンバーによるコアミーティングを毎月実施し、企画立案や教室運営に係る事項について協議した。	令和3年度は、計画回数に達することはできなかったが、コロナ禍の中であっても感染対策を徹底し、まん延防止措置等重点措置の適用期間を除いた時期は開催した。新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たないが、オンラインによる開催方法も検討しながら出来るだけ多く開催できるよう努力する。

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的施策の実施状況【第2期:令和2年度-令和6年度】

No.	頁	分類	具体的施策 事業名	目標項目	担当課	数値・内容目標	達成年度	目標値 目標内容	達成年度の設定	目標内容の 現在の数値・内容	同左数値の 現況年度を明記	KPI(重要業績評価指 数)実績		令和3年度の活動内容	KPIの目標達成状況の分析(達成・未達成)の今後の 方針などを明記		
												同左数値の 目標達成年次	同左目標達成 の数値・内容			KPI提案	KPIの現況値 及び内容
45	新規	41	地域	手話啓発事業	庁舎窓口への手話通訳者配置	長寿福祉課	庁舎窓口に通訳者1名配置を目指す。	令和6年度	1名	1名	0名	令和元年	常勤0人 (※年間54日 配置)	常勤0人 (※年間51日 配置)	・総務庁舎・行政サービス庁舎窓口の手話通訳者設置 【総務庁舎】 24回設置:56人利用 【行政サービス庁舎】 27回設置:50人利用 ・町ケーブルテレビを通じて、手話の普及啓発活動の実施	正規、非正規を問わず、町職員として手話通訳通訳者の声掛けを行っているものの、庁舎窓口勤務で手話通訳者が見つからないのが現状であることから将来を見据えた、手話通訳者養成講座に取組んでいる。	
46	継続	41	地域	介護予防事業	介護予防事業実施会場数	長寿福祉課	介護予防事業実施会場数(地域つながりサロン、いきいき百歳体操、シルリハ体操教室)	R6年度	68か所	R6年度までに68か所	60か所	令和元年度	71か所	73か所	【通いの場の会場数・延べ参加人数】 ・地域つながりサロン 32か所 延べ 4,356人 ・いきいき百歳体操 23か所 延べ 8,084人 ・シルバーリハビリ体操 18か所 延べ 692人 計73か所 延べ13,132人	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、地域つながりサロンやいきいき百歳体操など、介護予防活動の自粛や休止などはありましたが、令和2年度より「教室の新しいルール」づくりをし、十分な感染対策をしながら、活動を継続できるように支援を行っています。KPI目標値には達成していますが、ひきつづき、地域において高齢者の「通いの場」「居場所づくり」を推進していきます。	
47	継続	41	地域	認知症地域支援の推進	認知症サポーター数	長寿福祉課	認知症サポーター数の養成	R6年度	3,550人	R6年度までに3,550人	2,300人	令和元年度	2,593人	2,861人	【認知症キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座の開催】 ・個人向け講座 ・鹿西高校1年生 ・鹿西小学校4年生 ・鳥屋小学校4年生 ・鹿島小学校4年生 計5回、参加人数277人	毎年、継続して講座を開催することにより、目標値に向けて着実にサポーター数を増やしています。今後も、認知症の人ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域をつくるために、認知症に関する普及啓発や、サポーターが地域で活躍してもらう取り組みを推進していきます。	
48	新規	42	地域	中能登町運転免許証自主返納支援事業	免許返納者の年間利用数	企画課	1200回 免許返納者の年間利用数	R6年度	1200回	令和6年度までに1200回	1063回	平成30年度	1210回	1170回	免許返納時、返納者への回数券交付(総務課)	引き続き、返納者や返納予定者への周知を図り、公共交通の利用促進の啓蒙を実施する。	
49	継続	42	地域	史跡石動山の発掘調査報告書の作成	史跡石動山の発掘調査報告書の作成	生涯学習課	埋蔵文化財調査報告書(調査概要年度分)作成	令和6年度	5件	埋蔵文化財調査報告書(調査概要年度分)作成	令和6年度までに報告書作成	資料収集・整理	令和元年度	資料の収集と整理を継続実施	資料の収集と整理を継続実施	資料の収集と整理を継続実施 史跡整備された復元建物や展示遺構の状況の確認。 史跡内の県指定建造物伊須流岐比古神社拝殿の保存修理に向けた文化財調査の準備。	発掘調査で得られた資料が膨大で報告書作成に時間を要している。
50	新規	42	地域	獅子舞文化継承事業 おにぎり発祥文化継承事業	伝統文化継承事業	企画課	5件 (令和6年度) イベント	R6年度	5件	5件	-	-	0件	1件	(一社)ななお・なかのとDMOと連携し、史跡石動山の天正5年の上杉謙信との合戦前夜を再現。アーカイブ映像を収録。DMOの公式チャンネルにて配信。	KPI達成目標に向けて、令和5年度の国民文化祭で、どぶろくや獅子舞、おにぎりの稲作文化の魅力を発信する。	

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるSDGs開発目標の関連付け
【第2期:令和2年度-令和6年度】



						SDGs開発目標																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
						貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
No.	頁	分類	具体的施策事業名	目標項目	担当課	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8	継続	30	しごと 有害鳥獣対策事業	有害鳥獣による農作物被害	農林課		○															
9	継続	31	ひと 移住定住促進事業	定住促進奨励金を活用した移住者及びUターン者数	企画課			○				○		○	○							
10	継続	31	ひと 宅地造成事業の推進	「新良川駅東」の残区画の販売	土木建設課										○							
11	継続	31	ひと 町営住宅の更新	町営住宅の建替え戸数	土木建設課										○							
12	継続	32	ひと 巻き込み・関係人口プロモーション事業	①体験交流ツアーの実施回数 ②まちコンシェルジュ人材育成人数	企画課				○						○	○	○			○		
13	継続	32	地域 ICTを活用した魅力ある観光推進事業	①観光施設等の来訪者数 ②ICT活用の成功事例件数 ③デジタル支援員の育成数	企画課			○	○			○	○	○	○	○					○	

●中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるSDGs開発目標の関連付け
【第2期:令和2年度-令和6年度】



SDGs開発目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう
-----------	----------	----------------	---------------	-----------------	-----------------	----------------------	--------------	-------------------	-----------------	------------------	---------------	-----------------	--------------	--------------	-----------------	----------------------

No.	頁	分類	具体的施策事業名	目標項目	担当課	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
28	継続	36	子育て環境 町立保育園再編検討事業	町立保育園再編計画の策定	健康保険課											○	○						
29	新規	37	地域 中能登町の男女が幸せになる普及促進事業	①第3期男女共同参画行動計画の策定 ②普及イベント開催(年間) ③生産年齢人口数(新規)(15~64歳)	企画課	○				○					○	○						○	
30	継続	38	地域 古民家・土蔵活用事業	古民家の活用軒数	企画課								○			○	○						
31	継続	39	地域 公共施設利活用事業	個別施設設計画の策定	総務課							○				○							
32	継続	39	地域 旧学校施設の利活用	旧学校施設の施設利用の決定	学校教育課											○	○						
33	継続	40	地域 通学路の安全点検の実施	通学路安全合同点検の実施	学校教育課											○							
34	新規	41	地域 コミュニティスクールの開校	コミュニティスクールの開校数	学校教育課				○							○							

